

一般社団法人 日本臨床検査自動化学会
平成 29 年度定時社員総会議事録

開催日時：平成 29 年 6 月 24 日（土）14 時 30 分～15 時 30 分

開催場所：文京シビックセンター 3F 会議室 B

（東京都文京区春日 1-16-21）

出席社員：14 名（評議員 7 名、役員 7 名）、はがきによる議決権行使 133 名

出席役員：康 東天理事長、谷直人理事、澤部祐司理事、細萱茂実理事、
山館周恒理事、栢森裕三監事、村上正巳監事

欠席役員：松尾収二理事、和田隆志理事、横田浩充理事

議事録作成者：山館周恒総務担当理事

冒頭、定款第 28 条に従って当社員総会の議長を担当する康 東天理事長より、以下の挨拶があった。

暑い中、本定時社員総会にご出席頂き有難う御座います。定時社員総会は例年、出席者が少ないですが、日頃の皆様のご協力により会務を滞りなく遂行できております。特に、今年度より新たな委員会を設けて学会活動の拡大を図っております。これが成功するために皆様のご協力を賜りますようお願い致しまして開会の挨拶と致します。

開会に先立ち、総務担当の山館周恒理事より本会の出席者数が次のように報告された。評議員 169 名中、出席者総数 14 名（社員 7 名、役員 7 名）で、葉書による議決権行使者 133 名を含めて全体として 147 名（87%）である旨、報告された。これを受けて康 東天理事長より、定款第 30 条に照らして本定時社員総会の成立が宣言された。

続いて、議事録署名人として菊池春人社員と米田孝司社員が選任され、審議に入った。

1. 議事

(1) 第 1 号報告（平成 28 年度事業報告）

山館周恒総務担当理事より、「資料 1」に基づいて平成 28 年度事業報告がされた。

(2) 第 2 号報告（論文賞選考報告）

細萱理事より次のように報告がなされた。第 41 巻掲載の原著論文およ

び技術論文の計 47 編を対象に、編集委員 23 名により点数による評価を行い、上位 5 名を選出し、編集幹事会でメール審議にて 5 名の中から 2 名（工藤思華、嶋村眞由美）を選び、理事会の承認を得て決定した。

(3) 第 1 号議案（平成 28 年度決算報告）

会計担当の澤部祐司理事により、貸借対照表、正味財産計算書、財産目録（資料 3-3）が示された。次に、定時社員総会に例年提示している形式の収支計算書を用いて法人の規定に則って説明がなされた。

続いて、村上正巳監事により、5 月 27 日と 6 月 5 日に実施した監査の結果が報告された。

その後、質疑応答に入り、通山薫社員より・会費の収入が減ってきているとの解釈でよろしいか、との質問あり。本件については年度内の会費未納が翌年度に複数年度分を納入されるケースもあることから年度による増減が出ていると思われる旨、学会事務局より説明が行われた。さらに本件について、神山清志社員より、年度末の未納会費は未収金処理にすべきであるとの意見と、都・区民税の減免処置を受けているか否かの質問が出された。本件については当学会の顧問税理士と相談して適切な対応を行う旨、康 東天理事長より答弁がなされた。さらに、法人化直後の財政難が改善してきていることを踏まえて、学会活動を広げていきたいとの方針説明のあと採決に入り、承認された。

(4) 第 2 号議案（評議員選出について）

康 東天理事長より、各委員会に活動の功績を中心に推薦を依頼し、細則第 17 条の要件を満たしていることを確認して資料 4 に示す 13 名の選出に至った経緯の説明がなされた。質疑において特に質問はなく採決に進み、承認された。

(5) 第 3 号議案（役員選挙結果報告および役員の選任）

初めに選挙管理委員会の木村 聡委員長が所用で欠席のため、代わって飯塚儀明委員より 4 月 25 日付けで全評議員に発送された選挙結果について報告がなされた。続いて、資料 5 の理事 7 名（萱場博之、康 東天、澤部祐司、谷直人、通山薫、萩原三千男、横田浩充）、監事 1 名（白井秀明）の役員選任提案の説明がなされた後、採決に進み満場一致をもって可決承認された。

(6) 第 4 号議案（指名理事の選任）

山館周恒総務担当理事より、細則第 14 条 5 項に従って選出された資料

6の指名理事2名(日高洋、和田隆志)を指名理事として選任頂く提案説明がなされた。

本件の質疑において、神山清志社員より、前項の第3号議案も含めて、本件は個別案件として個別の採決を行うべきである点と該当者が本来はこの場で受諾意思表示を行い、議事録に明記するのが良いとの指摘があった。この指摘に対して山舘周恒総務担当理事より、事前に承諾書の提出を得ている旨と本日の欠席社員の議決権行使書面では個別賛否を諮っていると回答がなされたが、神山清志社員から就任前の承諾書提出は無効であるとの指摘があり、今後、当日出席できない当事者の扱いも含めて課題とすることで了承された。

この指摘を踏まえて、第3号議案および第4号議案について個別に採決を行い、全て承認された。

(7) 第5号議案(定款一部改定について)

現定款と改定案を列記した資料7に沿って谷直人理事より説明がなされ質疑を経て採決に入り、提案通り承認された。

(8) 第6号議案(その他)

なし

2. 平成31年度春季セミナー(第33回)について

康東天理事長より理事会の承認を得て次のように決定した旨、報告がなされた。

・第33回春季セミナー例会長:高橋 聡先生(札幌医科大学)

3. 平成31年度大会(第51回)について

上記2と同様に第51回大会の大会長について報告がなされた。

・第51回大会長:宮地勇人先生(東海大学)

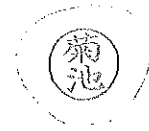
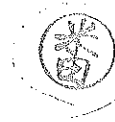
4. 本年度大会について

第49回大会長の細萱大会長より、日程および企画内容等について以下の報告がなされた。

平成29年9月21日(木)~23日(土)、パシフィコ横浜にて「臨床検査自動化の躍進と医療貢献」のテーマで開催すべく鋭意準備中である旨の説明と一般演題等に対するお礼が述べられた。

5. その他

本定時社員総会をもって松尾収二理事、細萱茂実理事、山舘周恒理事が退任となることから本日欠席の松尾収二理事を除く二理事から退任の挨拶が述べられ



た。

6. 閉会

康東理事長より閉会が告げられた。なお、この後、新役員での理事会を開催して理事長を決定し、この場を借りて報告する旨、説明がなされ、暫く会場の外で理事長決定報告を待つて頂くことになった。

以上

上記決議を明確にするため、本議事録を作成し、議長および議事録署名人が次に記名押印する。

平成 29 年 6 月 24 日

一般社団法人 日本臨床検査自動化学会

議長

康東天



議事録署名人

米田孝司



議事録署名人

菊池春人

